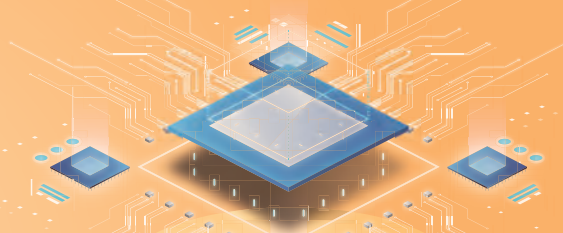
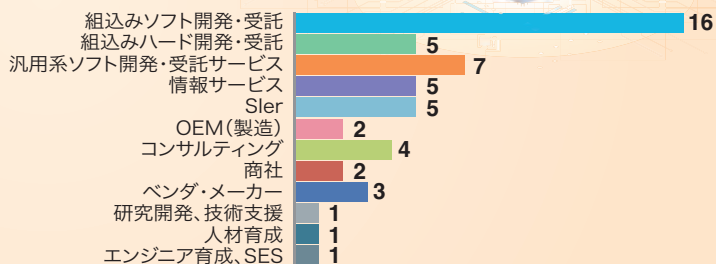


業界2024年の見通し



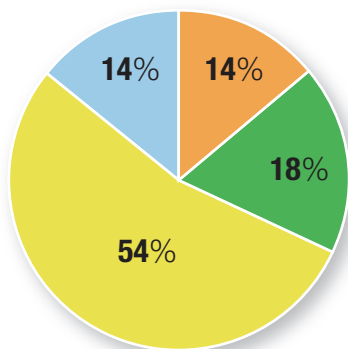
刻々と変化する社会情勢、物価高、人手不足、エネルギー問題等々、多くの課題を抱えたまま新年を迎えた。いまだ不透明感の強まりが感じられるなか、製造業DX推進・生成AI・ソフトウェアファースト化など注目すべきトレンドが生まれている。そんな2024年を会員企業の景気動向アンケート調査から展望する。

Q1. 回答企業の主たる事業 (複数回答)



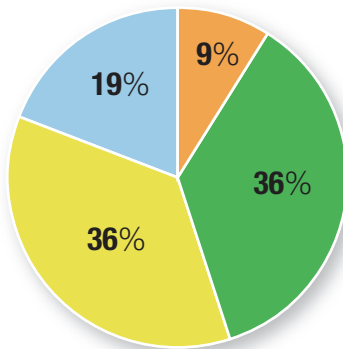
2023年を振り返って

Q2. 2023年の貴社の業績は
いかがでしたか？

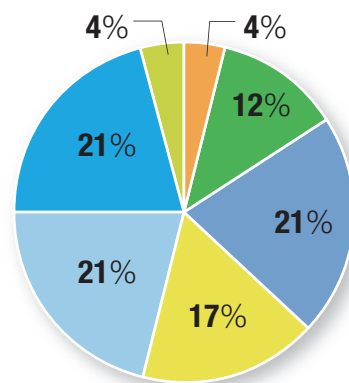


非常に良かった 良かった 普通
悪かった 非常に悪かった

Q3. 前年と比較して
2023年の業績は？

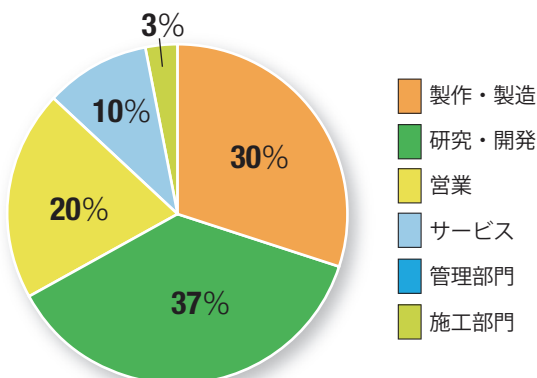


Q4. 2023年業績の伸び率は？

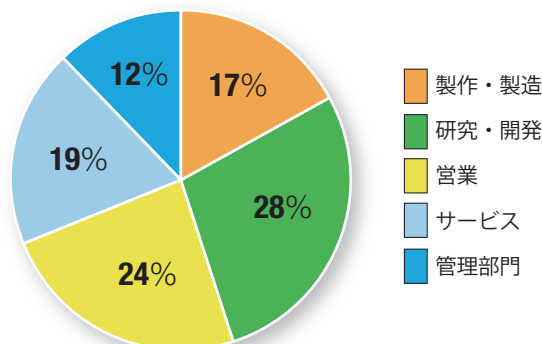


30%以上 30~20% 20~10%
9~0% 0% (変化なし) 0~-9%
-10%台 -20%台 -30%以上

Q5-1. 業績に貢献した部門は？ (複数回答)



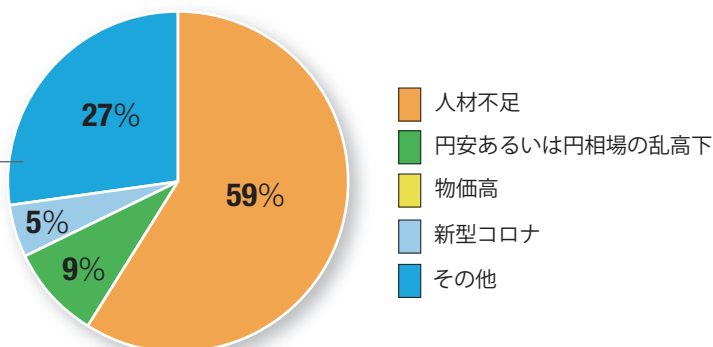
Q5-2. 今後補強したい部門は？ (複数回答)



2023年の業績では「非常に良かった」が前回の8%から14%に伸長(Q2)。伸び率も10%以上となる回答が合計37%あり(Q4)、前回(34%)に続き好調さが伺える。貢献した部門では「研究・開発」が前回から14ポイント増となる37%となった(Q5-1)。

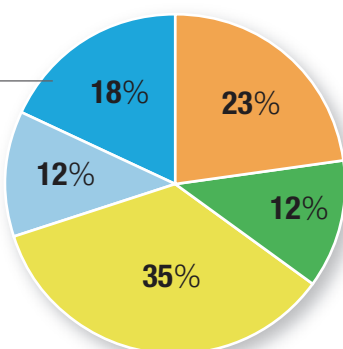
Q6-1. 最も業績に与えた影響が大きかった出来事は？

(その他)
大量受注の減少と利益の増加／主要顧客の不振
顧客との契約単価／不安定な受注／業務確保できず



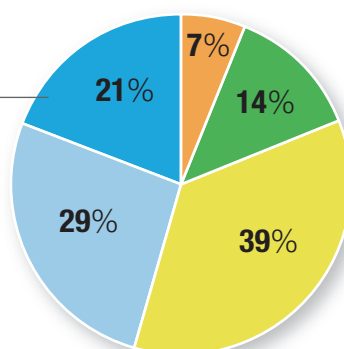
Q6-2. 2番めに影響が大きかった出来事は？

(その他)
個別のプロジェクト
新規開発案件、
大型案件が多い
特になし

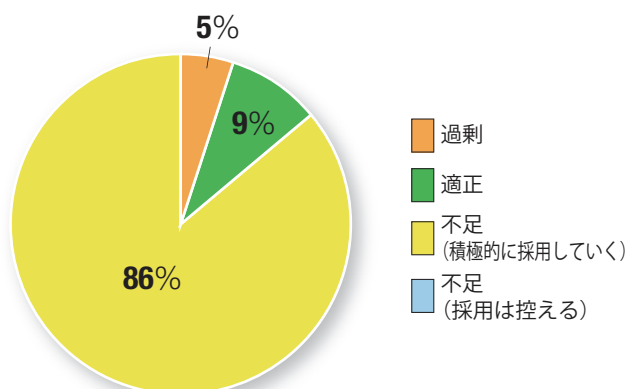


Q6-3. 3番めに影響が大きかった出来事は？

(その他)
技術力
特になし

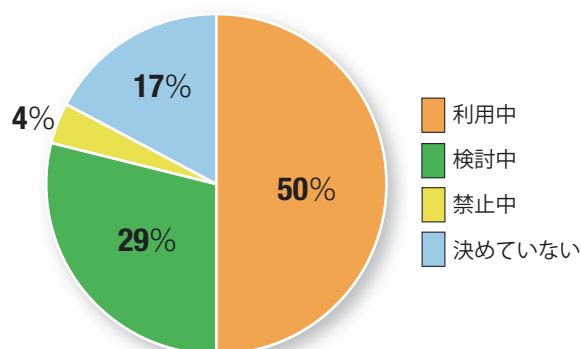


Q7. 技術者の雇用状況は？

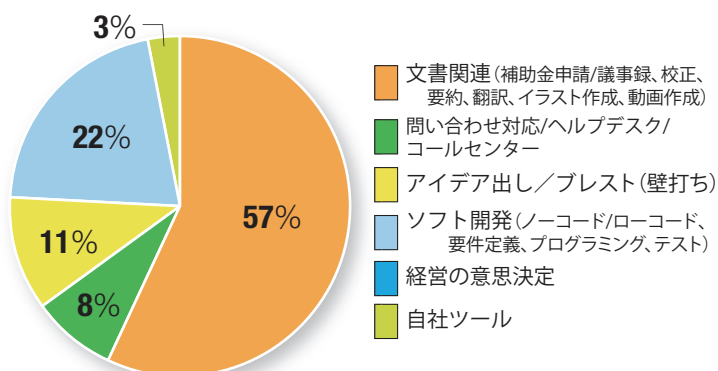


最も影響が大きかった出来事は(Q6)「人材不足」がほぼ6割と、現状課題が浮き彫りになった格好だ。「物価高」の影響も大きく、そのダメージにつながる地政学的リスクの高まりから今年も不安が残る。技術者の雇用状況では(Q7)、86%もの回答が「不足(積極的に採用していく)」に集中した。前回から20ポイント増えたことになるが、その前回23%あった「適正」とする回答は9%に大幅減少。案件数の増加が見て取れ、技術者不足の解消は喫緊の課題と言える。

Q8-1. 生成AIの利用は？

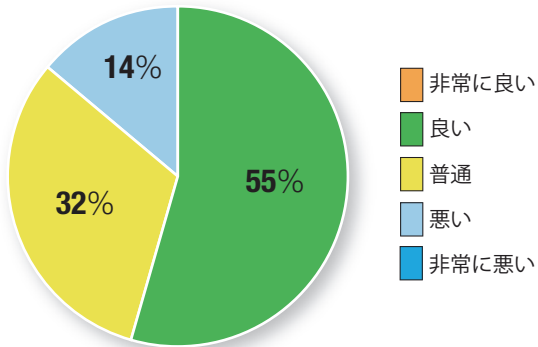


Q8-2. 生成AIは何に使う？ (複数回答)



2024年の景況予測

Q9-1. 2024年組込みシステム関係の景況は？



Q9-2. 景況の見立て、その理由は？

■「良い」とする理由

メーカ、顧客の積極的な開発姿勢／顧客問い合わせ、引き合いが多い／自動車関連が復活の兆し

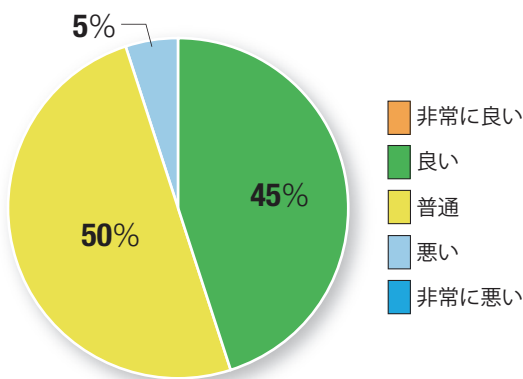
■「普通」とする理由

AIに紐づくものは良いがそれ以外は未定／車業界が景気良いが、エレキ(家電等)の景気は悪い

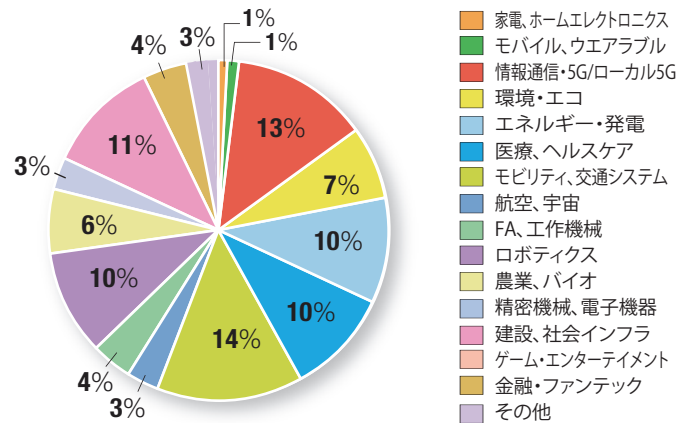
■「悪い」とする理由

組込みシステムの開発ができる人材の不足／特需開発が終了(インボイス関連、電子化等)／メーカ系の開発投資が低調／開発案件が不安定

Q10. 2024年の貴社の業績は？



Q11. 成長を期待する分野は？（複数回答）



2024年業界の景況について(Q9)「良い」が過半数の55%。前回(26%)から倍となる回答が集まった。「引き合いが多い」など新たな案件への動きが出ている企業もあり、積極的な開発投資の高まりが感じ取れる。前回、自社の業績予測では「非常に良い」「良い」の

合計が43%あった。Q2の回答から想定された成果が出たと言えるが、今回も半数近い45%が「良い」と回答しており(Q10)、今年の展開が期待される。また「期待する分野」(Q11)では、「エネルギー・発電」「建設、社会インフラ」が前回から倍以上となる回答となった。

Q12. 2024年貴社にとってのキーワードは？

■キーテクノロジー、応用分野関連

- インフラ点検
- プラットフォーム・エンジニアリング
- エネルギー分野
- セキュリティ
- IoT

■自社の環境改善・意識改善、新戦略

- 原点回帰
- 積極営業
- Reborn
- 企業文化の定着
- 共創
- 人材強化
- 営業力強化
- 安定収益
- 変化
- 新たな技術にさらなる挑戦
- 事業分野の確立とそのアウトソーシング